



インターフォー社長
ダンカン・デビス 氏

12月末で退任するインターフォー(カナダBC州)のダンカン・デビス社長が来日し、本紙のインタビュにに応じた。1998年12月の就任から21年間にわたり社長を務め、国境を超えた積極的なM&Aで企業規模を拡大。年産能力130万立方尺規模だったBC州の製材会社を米加で同560万立方尺生産する世界第4位の規模にまで躍進させた。来年1月以降、デビス社長は相談役に付き、後任にはイアン・フィリンジャーCOOが就任する。北米の上場企業で20年変化した。供給面では年以上、社長を務める米国北西部のマダラフのはまれなことだが、クロウ問題による伐採この間に業界は大きく規制、カナダ内陸のマ

では米国の住宅バブルの崩壊と中国市場の拡大などだ。当社は競争力の高い森林資源を求めて、カナダBC州から米国の北西部、米国南部へと製材拠点を拡充してき

多様な市場に供給するという考え方に基いて工場生産の安定化を図ってきた。この結果、リーマン・ショックで米国の需

世界4位の製材会社に

日本向けは品質、サービスに注力

ウンテンパインビートルの被害木の拡大、欧州産地の台頭、需要面

た。現在はBC州内陸でSPFを中心とする、ものづくり、資産

先にもサポートしても日本向けはシーボー



部ではスタッド、ポーロ製造、米国南部でサ

を心掛けて供給を続け